



子どもとメディア 北海道

# 子どもとメディア 北海道

第4号

2011年

4月発行



「新学期」撮影：諏訪

不安もあるけど楽しいことがたくさん待っている新学期！  
小さいけど凛々しい背中からパワーをもらえます。

子どもとメディアアンケート・・・2～3ページ

研修会に行ってきました！・・・4～5ページ

2010年度活動報告・・・6～7ページ

子どもとメディア北海道会員大募集！！・・・8ページ

## 子どもとメディアアンケート

\*無断転写禁

前号でお知らせしたアンケートの内容がほぼ固まりました。みなさんの関係機関や団体でも活用されませんか？ご相談下さい。他に、中・高校生本人向け、中高校生保護者向けもあります。

### 保育園・幼稚園・小学校低学年向けアンケート（案）

お子さんの年齢と性別： 才、 男児 ・ 女児

保護者の方の年齢：お父さん 20代、 30代、 40代、 50代、 60代

お母さん 20代、 30代、 40代、 50代、 60代

その他の方 20代、 30代、 40代、 50代、 60代

同居されているご家族の人数： 人

祖父母との同居の有無：あり（父方 祖父 祖母、母方 祖父 祖母） ・ なし

#### 《生活リズムについて》

起床時間：平日 時 分、休日 時 分

就寝時間：平日 時 分、休日前 時 分

昼寝：する（ ）時～（ ）時 ・ しない

朝食：毎日食べる ・ 週に（ ）日くらい食べる ・ 食べない

食べない理由（ ）

#### 《メディアの利用について》

（1）お子さん専用の物を持っていますか？

テレビ：ある ・ ない

ビデオ、DVD デッキ：ある ・ ない

テレビゲーム：ある ・ ない

携帯型ゲーム（DS など）：ある ・ ない

パソコン：ある ・ ない

ケータイ：ある ・ ない

（2）1日にお子さが使用している時間はどれくらいですか

テレビ：（ ）時間、そのうち教育番組は（ ）時間

ビデオやDVD：（ ）時間、そのうち教育用のものは（ ）時間

ゲーム：テレビゲーム（ ）時間

携帯型ゲーム（DS など）（ ）時間

ケータイ（ケータイでのゲームも含みます）：（ ）時間

パソコン：（ ）時間、

そのうちインターネットをしているのは（ ）時間

(3) お子さんにケータイやゲームを持たせることについて、どう考えていますか？

① ゲーム

- 1 子どもには持たせたほうが良いと思う： はい ・ いいえ
- 2 子どもが強く欲しがるので仕方なく持たせた（持たせるだろう）。  
はい ・ いいえ

持たせた方は何歳の時に持たせましたか？ ( ) 歳

- 3 持たせても良いと思う時期はいつ頃だと思いますか？

3歳前・3-6歳・小学校入学後・中学校入学後・高校入学後・高校卒業後

② ケータイ

- 1 子どもには持たせたほうが良いと思う： はい ・ いいえ
- 2 持たせても良いと思う時期はいつ頃だと思いますか？

3-6歳・小学校入学後・中学校入学後・高校入学後・高校卒業後

- 3 子どもがケータイを持つことへのお考えは？  
当てはまるもの全部に○をつけて下さい。

- ・必要性が出てくれば持たせる
- ・社会的な力、責任を取る力が付けば持たせても良い
- ・家庭の問題なので家族の責任で持たせるべき
- ・考えたことがなかった
- ・よく分からない
- ・その他 ( )

(4) ケータイ・ネット・ゲーム等で、感じていること、困っていること、相談したいことはありますか？

( )

(5) お子さんの生活リズムで、感じていること、困っていること、相談したいことはありますか？

(例) 落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい、夜早く寝ない

( )

現場の先生からのご意見もいただき試行錯誤の末ようやく「子どもとメディア北海道オリジナルアンケート」ができました。メディアへの接触状況に加えて、園の先生方が心配されている子ども達の生活リズムの項目も設けました。早ければゴールデンウィーク明けから3つの園、1つの高校での実施を予定しています。

北海道の子ども達の現状を理解する上で貴重なデータが得られることでしょう。今後、さらに実施数を増やしていきたいと考えておりますので、会員の皆様にはアンケートに協力にいただける園や学校などの情報をお寄せいただければ幸いです。

ご興味のある方は事務局まで御連絡下さい。

(諏訪)

3月19日・20日(於：札幌市)

「不登校児対応アドバイザー養成講座」

「ネットいじめ(情報モラル教育)指導者養成研修会」

主催：全国webカウンセリング協議会

## 研修会に行ってきました！(中谷)

**講師：安川 雅史 氏** (全国webカウンセリング協議会理事長)

★全国webカウンセリング協議会は、「子どもとメディア北海道」でも、講演や授業の際活用しているDVD「ちょっと待って、ケータイ～ルールとマナーを守ろう～」の作成に尽力された団体です。1月に白老町で講演して下さった札幌大通高校の大和先生も、この会で学ばれました。

★今回ぜひ受講したいと決意したきっかけは、2月に小学5年生を対象に授業をさせてもらった時に、子ども達の真剣に聞いてくれる様子に「もしケータイやネットのことで、先生や親御さんにどうしても相談できない困ったことがあったら、すすすくに来てね。守ってあげるからね！」と伝えたのです。でも、本当に来てくれた時に何ができるんだろう、せめて解決の糸口に関する情報を知りたい……と思ったのでした。

★講師の安川雅史氏は、**熱い**人でした。説得力があり事例も豊富で理解しやすかったです。特に不安や悩みを抱えている子どもに対して、親や先生がどんな言葉でどんな気持ちで語りかけていったら良いのかを、俳優のように演じて見せてくれました。

★「不登校児対応アドバイザー養成講座」では、不登校や引きこもりの実態、それぞれの原因によってとるべき対処法が違う事、どのように親や教師が関係づくりをしていくのか、などを具体的に学びました。安川先生が何度も繰り返していた「心配されて嫌がる子どもは、1人もいません。」という言葉が忘れられません。

不安や悩みを抱えてしまった子ども(不登校や引きこもり)には、繰り返し繰り返し、伝わるまで、明るく穏やかな表情や声で子どもの名前呼びかけ、子どもの事を大事に思っていることを行動の伴った具体的な言葉で伝えることなど、あくまでも大人の側が子どもを理解し自分のそれまでの子育てを振り返ることを強調されました。

深刻な引きこもり事例に対応した時の経験から、家庭内暴力への対処法など、これまで書物で知り得た情報より現実味のある内容でした。(3月11日朝日新聞朝刊32ページに似たような対処の仕方がありました)

また、不登校の手前の登校渋りについても原因の違いにより全く違う対処の仕方であること、子ども自身に力をつけさせる(自律心・自立心)ためには、ほとんど全ての親に見受けられる親の過保護・過干渉を慎む必要についても詳しく述べられました。

参加者に先生が多かったので、学校の対応にも詳しく言及され、例えば不登校の親との協力体制がとれない場合(モンスターペアレントなど)の対応法なども詳しく話されました。

### ネットいじめ(情報モラル教育)指導者養成研修会

★高校生へのケータイ普及率がほぼ100パーセントに近付いている現実の中で、ネット社会で**自分の身を守る**方法を具体的に子どもに伝えることが急務であることを強調されました。

#### 《教わった具体的な方法》

- ① 迷惑メール受信拒否の設定方法(各社別)
- ② フィルタリングサービスと問い合わせ先

シーベルトと一緒に、自分の身は自分で守る

### ③ リスクへの対処法

- \* チェーンメール
- \* ネットオークション
- \* なりすましメール
- \* 架空請求
- \* ワンクリック詐欺

具体的に文例を見せ、その根拠のなさ、自分も加害者になってしまう事、対処法を教える

- \* 掲示板
- \* ブログ
- \* SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)

ネットいじめを防ぐ最も有効な対策は未成年が持つケータイをすべてネットに接続できないものに変えること。  
現実的対応としては、ネットパトロールなどが必要。

### ④ ネットパトロールの方法（ネットいじめの対処法）

- \* 学校裏サイト・子ども達のブログやプロフを検索して見つける
- \* 不適切な書き込みがないか確認する。その際の必要な知識としての「隠語」
- \* いじめについては、児童生徒・保護者からの相談受付
- \* 書き込みを発見した場合
  - ・書き込み内容の確認と証拠保全
  - ・掲示板の管理者に削除依頼
  - ・掲示板の管理者が削除に応じない場合、掲示板等のプロバイダに削除依頼
  - ・加害者への指導と被害者へのホロー(保護者連携)
  - ・犯罪の場合には、警察等へ連絡

「隠語」の多さに驚きました。性犯罪、薬物犯罪がネットの普及によって一般の子ども達の身近になってしまったことを実感

今回の研修会資料から、みなさんにもいくつか提供します。（「NPO子どもとメディア」と同様に、研修で使ったテキストや資料は、自由に活用して良いとの許可を得ています） ご活用ください。

- ① いじめがわかった時の家族や親の対応
- ② いじめがわかった時の学校での対応
- ③ いじめにあっていることを親に相談できない原因
- ④ 家庭内のケータイルール
- ⑤ ケータイ依存度チェック

#### 《参加しての感想》

「子どもとメディアのインストラクター養成講座」で学んだことと大きく違いはなかったのですが、実際にネットを利用している子どもが多いため、「自分の身を守る技術を教える」ことに重点を置いた講座だったと感じました。両方必要なのでしょう。子どもの心を健やかに育てるために、大人がメディアの与え方を制限することを特に義務教育の間は大事なのだと改めて思いました。ネットというメディアを活用して、世界中の平和や民主化に貢献していけるような大人に育ててほしい。既存の仕組みの中では弱者になってしまう人々が、ネットを活用することで人権を保障される社会の実現。その為にも、思いやりやコミュニケーション能力を育むためには、子ども時代は制限が必要という視点でもしっかり啓もうしていきたいです。

## 2010年度活動報告

予想を上回る講演依頼に感謝です。会員の方が、親や支援者として主催して下さった会もあります。ありがとうございました。

まだまだ未熟なので研鑽に努めます。(中谷)

### ① 講師派遣・・・10回

日時	場所	テーマ	参加者	講師	主催
7月12日 18時～20時	白老町子育て ふれあいセンタ ー	親子の対話によるケータイ対応マ ニユアル	親・支援者 8名	中 谷	白老NPO法 人お助けネッ ト
9月29日 10時～12時	登別市 市民会館	考えてみませんか！電子メディア と子どもの育ち ～大人にできることは～	親・支援者 10名	中 谷	登別NPO法 人モモンガく らぶ
10月5日 10時～12時	旭川市 神楽公民館	子どもの発達とメディア	一般 30名	諏 訪	旭川NPOサ ポートセンタ ー
11月13日 10時半～11 時45分	白老町コミュニ ティーセンター	子どもとメディアのよい関係をつ くるために～大人のできるこ と、すべきこと～	一般 100名	中 谷	白老町青少 年育成大会 実行委員会
12月10日 18時～20時	美唄市	子どもとメディアのよい関係 ～大人のできるこ と、すべきこと～	40名	中 谷	美唄市子ど も未来課
2011年 2月8日13時 ～14時半	白老小学校	子どもとメディアのよい関係 ～大人のできるこ と、すべきこと～	1年生親・ 先生10名	中 谷	白老小1年保 護者
2月9日 10時半～12 時	白老町子ども発 達支援センター	子どもとメディアのよい関係 ～大人のできるこ と、すべきこと～	乳幼児の 親・支援者 10名	中 谷	白老町子ど も発達支援セ ンター
2月16日 10時半～12 時	黒松内町中央 公民館	子どもとメディアのよい関係 ～大人のできるこ と、すべきこと～	乳幼児の 親・支援者 20名	中 谷	黒松内町教 育委員会
2月24日 13時25分～ 14時10分	白老小学校	授業 (メディアとのよいつきあい方)	白老小学 校5年生・ 保護者・先 生50名	中 谷	白老小5年保 護者
2月26日 15時半～17 時	ニセコ町学習交 流センター	道民カレッジ連携講座 子どもとメディアのよい関係 ～大人のできるこ と、すべきこと～	一般 10名	中 谷	ニセコ町教 育委員会

### ② 情報誌発行・・・4回

号数	発行月	主な内容
第1号	7月	子どもとメディア北海道設立について
第2号	10月	会員紹介・研修報告
第3号	2011年1月	子どもとメディアアンケートについて
第4号	4月	研修報告・事業報告

今年度の収支報告書  
を同封していただきますので  
ご覧くださいませ。会  
員としての応援感謝！

③ 調査・研究・・・「子どもとメディアアンケート」

**8月・・・アンケート内容検討**  
**10月・・・協力機関との打ち合わせ**

昨年7月に発足したばかりですが着実に活動は広がっています。今年は新たな試みを行います。この会が広く知られるよう会員の皆様のご協力をお願い致します。(諏訪)

④ 研修・・・2回

8月30日	士別市地域づくり研修会子育て講演会 NPO子どもとメディア代表理事 山田真理子先生	士別市市民文化センター	諏訪・中谷
3月20日	全国webカウンセリング協会特別教育講座	札幌市松崎ビル	中谷

講演会や授業の感想から

<p>講演で印象に残ったところは、「使われない部分は育たない！」という所。</p> <p>いつも子ども達に、なぜゲームがいけないのか説明するのに困っていましたが、具体的に説明することができます。貴重な話をたくさん教えていただきありがとうございました。(ネットやメール、ゲームに親の自分がかなり中毒なので気をつけたいです)</p>	<p>子ども二人がゲームが大好きですが、私は時間(短時間)を決めてやらせたいのに、父親は好きなだけやってもいいと、許可を出します。そんな時は、どうしたら？</p>
<p>子ども達が集中して話を聞いていたことが、嬉しかったです。</p> <p>DVDの内容が、わかりやすかったと思います。</p>	<p>自分の子どもは、まだネットやケータイなどの経験はさせていないが、今回参観させていただいて、どの子どもみんな興味は持っているんだなと思いました。</p> <p>今後、ケータイやネットを経験する時が来ると思うので、今からいろいろと話ができたら良いなあと思います。</p>
<p>子どもへの聞き取りが興味深かった。出てくる言葉(ゲーム名)も半分以上知らなかったが、子どもの手が挙がっていたので、びっくりした。(知らなかった)</p> <p>子どもへのメッセージがうれしかった。「どうしても困ったら、すくすくに来て話して下さい。助けてあげます」</p> <p>『守ってあげたいから』チェックする、という言い方できちんと管理していいんだとわかりました。</p> <p>依存度チェックで、自分も7点でちょっとショックでした。親を観ているので、直さねばと思いました。(その結果・・・すぐには直せず、子どもの見えない所でインターネットするように心がけています。)</p>	<p>子ども達が依存症になりやすいということ、脳への悪影響。</p> <p>思っていたよりもマイナスな面が多く、子どもとメディアの関わりを考えさせられました。いい時間を過ごさせてもらいました。</p> <p>友達とゲームなしではあそべない関係に困っています。</p>
	<p>ネット犯罪などが他人事ではなく、すごく身近にあることに驚きました。</p> <p>父親がパソコンに張り付いているので、説得力に欠けてしまうことが悩みです。</p>
	<p>うちの子どもには、脳のどこが動いているのか・・・の画面が1番よかったです。</p> <p>こういうのが、うちの子には1番説得力があるからです。</p>

# 子どもとメディア北海道会員大募集！！

子どもとメディア北海道 ホームページアドレス

<http://childmediahk.web.fc2.com/>

**会員になると** 会議などはありません。ゆるやかなネットワークです。

- ★ 情報誌が届きます（年間4回程度発行予定）。
- ★ 学習会や交流会にご参加いただけます。

23年度は、交流会や学習会を開きたいです!!ご期待下さい。

## 申込方法

①初年度の方は、入会申し込み用紙にご記入ください

☆同封の入会申し込み用紙に必要事項を記入して、FAXで事務局まで送信ください。代表・事務局へのメールでも受け付けます。（申込用紙の必要事項をメールに書いて返信ください）また、会費を郵便小為替で郵送される方は、封書で一緒にご送付ください。☆入会申し込み用紙の送信と以下の会費の納入の確認をもって、情報誌の発送をさせていただきます。その年度にすでに発行されている情報誌は全て送ります。

②2年度以降の方は、年会費を納入ください。（5月末日まで納入いただけると助かります）

**会費について** 情報誌作成発行・事務費等に当てます

★年会費 1500円

★会費の納入方法は、代表・事務局への手渡し、事務局まで郵便小為替（1500円分）を郵送するかのいずれかをお願いいたします。

23年度の年会費は、昨年度より500円下げて、1500円とします。少しでも多くの方に情報誌を読んでもらいたいとの思いからです。ぜひご紹介下さい。

昨年度も情報誌の用紙は、元々事務局で持っていたものを使っていたのですが、今年度も何とか間に合いそうです。

事務局(中谷 通恵 なかや みちえ)

〒059-0908 白老郡白老町緑丘1丁目3-34

TEL/FAX 0144-82-2685

メールアドレス [michie-n@plum.plala.or.jp](mailto:michie-n@plum.plala.or.jp)

入会申し込み

お問い合わせは

こちらまで



